

2025年6月6日

三菱UFJ信託銀行株式会社
GreenCarbon株式会社

邦銀初のAWD手法を用いたフィリピンJCM組成にむけた共同実証開始

三菱UFJ信託銀行株式会社（取締役社長：窪田博、以下 三菱UFJ信託銀行）は、Green Carbon株式会社（代表取締役：大北潤、以下 Green Carbon）とフィリピンヌエバビスカヤ州における水管理手法「Alternate Wetting and Drying（AWD）」を用いた「JCM（二国間クレジット制度※1）」組成に係る共同実証を開始しました。

本JCM方法論は、2025年2月に日本・フィリピン両国政府のJCM合同委員会承認されたものであり、AWD手法を用いたフィリピンJCM組成は邦銀初の取り組みとなります。



三菱UFJ信託銀行

1. 本プロジェクトについて

本プロジェクトは、ヌエバビスカヤ州の対象水田圃場にAWD（間断灌漑※2）を導入し、メタンガス排出量の削減を図ります。

2025年3月からパイロット実証を開始しており、今後3年以内に同州の灌漑水田全域となる約2万ヘクタールへの展開を見込んでいます。これにより、今後10年間で合計約100万トンを超えるカーボン・クレジット創出を目指しています。

2. 本プロジェクトの背景

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、日本ではGX（グリーントランスフォーメーション）を推進策の一つとして、GX-ETS（排出量取引制度）本格稼働にむけて具体化が進められています。本制度においては、J-クレジットやJCMなどのクレジットの活用を優先する方針が示されており、今後、国内企業における需要の高まりが見込まれます。

一方、本需要に対して現在のクレジット創出は絶対量が不足しており、農業分野を始めとする新たなクレジット創出手法の拡大が期待されています。

三菱UFJ信託銀行においては、日本国内だけでなく海外でも新たなカーボン・クレジット創出プロジェクトの開発に優れているGreen Carbonとの共同実証を通じて高品質かつボリュームが期待できるクレジットの創出・拡大を図ることで、お客さまの脱炭素化に向けた取り組みを支援すると共に、日本の脱炭素化に貢献することを目指してまいります。

3. 今後の展望

三菱UFJ信託銀行とGreen Carbonは、本プロジェクトを通じてフィリピン国内でのAWD導入を加速し、脱炭素に寄与する農業実践の拡大を図ると共に、日本企業におけるJCM活用の普及を目指します。本方法論に留まらず、透明性の高いJCMやJ-クレジット創出プロジェクトの展開を進めることで、高品質なカーボン・クレジットの認知度向上を図るとともに、多様な企業のカーボンオフセットにかかるソリューション提供を目指してまいります。

※1：JCM（二国間クレジット制度）とは

JCMとは、日本が有する優れた脱炭素技術等の普及を通じて、パートナー国の温室効果ガス排出削減に貢献し、その削減分を両国の削減目標の達成に活用する制度です。

フィリピンは2017年1月に日本とJCMを開始しており、両国間でプロジェクトの実施が可能となっています。

※2：間断灌漑

間断灌漑（AWD）は水田の水位を目安に、数日おきに入水と自然乾燥を繰り返すという手法になります。間断灌漑（AWD）の場合、連続的な入水に比べ、水使用量を削減することができ、水資源の保全にも寄与します。

以 上

【Green Carbon 株式会社の概要】

Green Carbon は、「生命の力で、地球を救う」をビジョンとして掲げ、国内外において自然由来のカーボン・クレジット創出・登録・販売までを一気通貫してサポートする事業を展開しており、その他にも、農業関連事業、研究開発事業、ESG コンサルティング事業なども展開しております。

代表者 : 代表取締役 大北 潤

所在地 : 東京都港区赤坂 5-2-33Isai AKASAKA607

設立 : 2019年12月

事業内容 : カーボン・クレジット創出販売事業、農業関連事業、環境関連事業、その他、関連する事業及び ESG コンサルティング事業

URL : <https://green-carbon.co.jp/>